

■令和4年度 第2回 八戸市子ども・子育て会議 議事録

(委嘱状交付式及び組織会、令和4年度第2回会議)

【概 要】

日 時	令和4年7月29日(金)
場 所	八戸市公民館2階 会議室1・2・3
出席委員	<p>【出席】</p> <p>坂本 美洋 委員 平間 恵美 委員 関川 幸子 委員 久保 隆明 委員 根城 隆幸 委員 高橋 さつき 委員 正部家 朱美 委員 小池 智彦 委員 中里 雅恵 委員 山本 恵鶴子 委員 小川 和子 委員 加藤 宏明 委員 川村 暁子 委員</p> <p style="text-align: right;">以上13名出席</p> <p>【欠席】</p> <p>田頭 初美 委員 風穴 雄亮 委員 今川 一 委員 細越 亜起子 委員 越戸 順子 委員</p> <p style="text-align: right;">以上5名欠席</p>
事務局	<p>福 祉 部：池田福祉部長兼福祉事務所長、山道福祉部次長兼政策福祉課長 健 康 部：中里健康部次長兼こども家庭相談室長 こども未来課：四戸課長 子育て支援課：夏井課長 すくすく親子健康課：山村課長 教育指導課：梅内課長 こども支援センター：佐々木所長 総合教育センター：河村所長 公園緑地課、教育総務課</p>
報告案件	(1) 令和4年度子どもファースト事業の取組について
結果概要	上記報告案件について説明し、出席委員全員の了承を得た。 (以下、議事詳細)

【委嘱状交付式】

司 会

本日は、お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。
ただ今から「八戸市子ども・子育て会議 委嘱状交付式及び組織会並びに
令和4年度第2回会議」を開催いたします。

それでは始めに、委員の委嘱状交付式を行います。

恐れ入りますが、私がお名前を申し上げますので、その場でご起立願いま
す。市長がお席まで参りまして、委嘱状をお渡しいたします。

なお、委嘱状につきましては、最初の方だけ全文を読み上げますが、次の
方からは、お名前だけとさせていただきますので、御了承願います。

坂 本 美 洋 (さかもと よしひろ)	様
関 川 幸 子 (せきかわ さちこ)	様
根 城 隆 幸 (ねじょう たかゆき)	様
正 部 家 朱 美 (しょうぶけ あけみ)	様
中 里 雅 恵 (なかさと まさえ)	様
小 川 和 子 (おがわ かずこ)	様
川 村 暁 子 (かわむら あきこ)	様
平 間 恵 美 (ひらま えみ)	様
久 保 隆 明 (くぼ たかあき)	様
高 橋 さ つ き (たかはし さつき)	様
小 池 智 彦 (こいけ ともひこ)	様
山 本 恵 鶴 子 (やまもと えつこ)	様
加 藤 宏 明 (かとう ひろあき)	様

本日は、所要のため、今川 一 (いまかわ はじめ) 様、田頭 初美 (でん
どう はつみ) 様、細越 亜起子 (ほそごえ あきこ) 様、越戸 順子 (こし
ど じゅんこ) 様、風穴 雄亮 (かざあな ゆうすけ) 様の5名の方がご欠
席されております。

委員の皆様の御紹介につきましては、本日配布しました「委員一覧」を御
覧いただくことといたしまして、改めての御紹介は割愛させていただきます
ので、御了承願います。

司 会

以上で委嘱状交付式を終わります。

続きまして、市長から御挨拶申し上げます。

市 長

(あいさつ)

【組織会】

司 会

それでは、ただ今から組織会を始めます。

本日は、今川 一 委員、田頭 初美 委員、細越 亜起子 委員、越戸 順子 委員、風穴 雄亮 委員の5名が欠席されており、18名中13名の出席となっております。

本日は、委員の半数以上のご出席をいただいておりますので、八戸市子ども・子育て会議条例第7条第2項の規定により会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

また、同条例第7条第1項では会長が議長を務めることになっておりますが、同項のただし書きで、「新たに委員の委嘱が行われた後、最初に招集すべき子ども・子育て会議の会長の職務は、市長が行う」とされております。

よって、会長選出までの間、市長が議長を務めますことを御了承願います。

市 長

ただ今、事務局から説明がありましたように、暫時、議長を務めさせていただきます。

それでは、会長並びに副会長の選出を行います。選出は条例第6条第2項の規定により、委員の互選によることとなっております。

選出方法には、投票と推薦の方法がありますが、推薦の方法でいかがでしょうか。

「異議なし」の声あり

市 長

それでは、どなたか御推薦をお願いいたします。

委 員

会長には坂本委員、副会長には関川委員を推薦いたします。

市 長

ただ今、会長に坂本委員、副会長に関川委員の推薦がありましたが、皆様いかがでしょうか。

「異議なし」の声あり

市 長

それでは、会長は坂本委員、副会長は関川委員をお願いすることに決定いたしました。以上で、私の職務を終了いたします。御協力ありがとうございました。

司 会

ありがとうございました。それでは、坂本会長と関川副会長には、それぞれ会長席・副会長席にお着きくださいますようお願いいたします。

会長、副会長着席

司 会

それでは、坂本会長から御挨拶をお願いいたします。

会 長

(あいさつ)

司 会

ありがとうございました。
続きまして、関川副会長から御挨拶をお願いいたします。

副会長

(あいさつ)

司 会

ありがとうございました。
これをもちまして組織会を終了いたします。

【議 事】

司 会

続きまして、会議に入ります前に、「八戸市子ども・子育て会議について」事務局より説明がございます。

事務局

《資料に基づき説明》

司 会

只今の説明に対し、御質問・御意見等ございませんか。

司 会

続きまして、「子ども・子育て支援分野における市の事務事業について」事務局より説明がございます。

本日は、事務事業の中から、子ども・子育て会議の主な所管事務を担当する こども未来課、子育て支援課、こども家庭相談室、すくすく親子健康課の事務を説明いたします

事務局

《資料に基づき説明》

司 会

只今の説明に対し、御質問・御意見等ございませんか。

司 会

それでは、会議に入ります。

当会議条例第7条第1項により、会議の議長は、会長が務めることとなっております。

坂本会長に、議事の進行をお願いいたします。

会 長

それでは議事に入ります。皆さまの御協力をいただきまして、円滑に議事を進めて参りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

本日は報告案件となります。

「令和4年度子どもファースト事業の取組について」、こども未来課より説明願います。

こども未来課

《資料に基づき説明》

会 長

はい、ありがとうございました。

ただ今の説明に対しまして、委員の皆様から御意見・御質問等ございますでしょうか。

委員A

先日、青森市では小中学校の給食費を無料にすると、年度後半で約5億円という話が出ました。弘前市では、高校生までの医療費及び入院費を無料にするというお話を聞きました。さて八戸市では、どうなのかなと思ひまして。ぜひ子どもファースト事業ということで、新しい市長さんも子どもに目を向けていただけるようになると思ひながら、給食費については、小中学校を何とか無料にして、実際に小中学生で支払いが難しいというご家庭もあって、子どもたちが苦勞しているという状況もありますので。給食費について小中学校は義務教育ですので、その部分について関係する方々になんとか尽力をいただければなという風なことを思ひます。医療費については具体的なところがよくわからないので何とも言えませんが、会議の趣旨というのは、子どもたちを健全に育成することだったと思ひますので、ぜひ会議の中で、ないしはそういう意見があるということをお聞きとどけいただければと思ひます。よろしくお願い致します。

会 長

今のは意見・要望ということでよろしいですね。

他にございませんか。

委員B

2 ページの対象事業の内容についてお伺いしたのですが、こどもの国の大型複合遊具設置事業というのが新しくなりますよということですが、まだこれは全然決まっていないのか、中を見ると障害の有無にかかわらず、すべての子どもが楽しく遊

べるといようなことが書かれています。このところに係というか担当の方がいて、障害に関する理解があるような研修をなさるとか、そのようなことを考えられているのかをお聞かせください。

もう一つは、先ほどの市の事務事業の中で、女性、困っている女性、DVも女性、となっていますが、男性のほうもお願いします。

公園緑地課

こどもの国大型複合遊具設置事業についてのご質問がございました。どういったものを作るのか決まっているのでしょうかということですが、こどもの国は有料施設はなかったのですが、今回無料の大型の複合遊具を設置するものでございます。全体構想は大体イメージとしてまとまっております。インクルーシブの考え方を取り入れたということで、これは研修を受けて我々が遊具を設置するのではなく、インクルーシブの遊具というものがメーカーでございまして、体の安定しない子供が乗れるようなブランコであったり、小さい子どもでもハイハイして遊ぶような遊具をエリアとして設けて、車いすでも大型複合遊具に入っていけるというのを考えております。そしてそのゾーンと、奥のほうにはアクティブゾーンということで規模の大きなもの、2つのものを設置するものであります。以上でございます。

こども家庭相談室

男性のDVについてもということでお話がございました。

先ほど説明しましたDV支援センターについてですが、こちらは配偶者暴力支援センターということで女性に限らず、男性も対応しております。実際男性の方のDV相談事例もございます。女性の方々から多くの相談がございまして、なかには、男性の方々から、話を聞いてほしいといった相談も数件受けておまして、それについてもじっくり話を聞いて対応しておりますので、女性、男性問わず、家庭における様々な問題について我々のほうで、対応しておりますので、ご理解いただければと思います。以上でございます。

会長

他にございませんか。

委員 C

事業内容の5番、放課後児童健全育成事業になりますが、登録者数2007人で、クラブ数48ですと、単純に計算しますと、ひとつの施設で41人ということで、適切な遊びを中心とした生活の場を提供するとなっていますが、長い時間そこで暮らすことになると思いますが、運動スペースがあるのかとか、コロナ禍で密集していないかなどいろいろ心配なことが多いのではないかなと思います。個々の状況を知りたいと質問いたしました。

もう一つ、新規事業の6番の子育て支援アプリ事業についても、子育ての環境の充実を図るとありますが、どういったアプリをご計画なさっているのかをお伺いしたいと思います。

以上です。よろしく申し上げます。

子育て支援課

ご質問にお答えいたします。

初めに放課後児童クラブの現在の状況ということでございますが、仲良しクラブは市内に48か所ございまして、それぞれの設置場所は地域によって、様々になっております。例えば、民間の借用物件を借りてクラブを運営しているのが約4割、小学校の空き教室や専用の場所を使ってクラブを運営しているところが約3割、認定こども園などで運営していただいているのが約2割、その他に地域の生活館などをお借りして運営しているところなどという内訳になってございます。ですので、広さもその場所によって様々でして、密集具合もクラブによって違うというのが現状でございます。

広い遊び場があるのかということも御心配されておりましたが、中にはホールを使わせていただいたり、学校では体育館などを借用するなどして、体を動かせるスペース、もしくは屋外に出て近くの公園などで体を動かすなど環境に恵まれているところもありますが、そうでないところもございます。状況は以上ようになっております。

次にアプリについてでございますが、子育て支援アプリについては、熊谷市長の政策公約ということで、現在、令和4年度中に導入できるように事務を進めている最中でございます。現在検討している内容といたしましては、母子手帳の機能を備えたアプリを想定しておりまして、例えば、子どもさんの乳幼児健診だとか予防接種などの記録ができるアプリ、あるいは、地域の子育て情報などが配信できる機能を備えているアプリを導入したいと考えております。現在、関係課で協議を進めているところでございます。以上でございます。

委員 C

放課後児童クラブは環境に恵まれている場所もあるし、そうではない場所もあるとのことですが、子どもたちにとってより良い環境で過ごすことがとても大事な時間であると思っておりますし、昔は学校から帰ると、「ただいま」と言って、お母さんが「おかえり」と待っているところが多かったと思うのですが、今はやむを得ずそこに行かないといけないということを考えると、できるだけその場所が充実した安心した場所になって欲しいなと心から思っておりますので、環境に恵まれていない場所は、場所を拡大するすとか何か補助があるようになってほしいなと思っております。以上です。

アプリのほうはこれから楽しみにしたいと思います。ありがとうございます。

会 長

他にございませんか。

委員 D

こんなにたくさんの方が子どもたちのために動いているのだと感動しながら聞かせていただきました。私の子どもは、生まれたときからコロナ禍といわれる中にいまして、こどもはっちなども利用ができない、外に行っても大人たちはマスクをしていて顔が見えない、すごくコミュニケーションが難しい子が増えたなという印象でもあります。

先日、中学校にSDGsの推進で行かせていただいたのですが、本当にコミュニケーションが取れないお子さんがたくさんいて、話し合いの時間にもなにも話ができない、思春期かなと思いつつ、でも、学校の先生たちの認識でもコミュニケーションが難しいと。それから、小学生は骨折する子が多いと聞きます。私が子どもの頃は、年にひとりクラスで骨折する子がいるというような感じでしたが、毎月誰かしら骨折している。そのようなことを聞くと、思いっきり体を動かす機会というものがすごく損なわれてしまっているのかなという風に思います。

ここと全く関係がない話をしているのかもしれないのですが、今の子どもたちを見ていて、コミュニケーションの不足や、体をたくさん動かして、思いっきり笑顔で遊べる場所の少なさというのは、私はすごく問題だなという風に感じているところです。先ほど話にもありましたが、家庭の中で、いろいろなことが立ち行かなくなっている状況で、核家族だったりとか、私はおばあちゃんと一緒に住んでいましたし、地域の子供会とかもありましたが、そういうのも廃れてきていて、どこにそのしわ寄せがいつているのだろうとたくさん考えてはいるのですが、そういうコミュニケーションだったりとか、思い切り遊べる場所とか、そういうのをなんとかできないものかなと思って、今日は伺っておりました。質問ではないのですが、私の意見を述べさせていただきました。

会長

では、他の委員から何かございますか。

《質問・意見なし》

会長

他の皆様は意見がないようですので、子どもファースト事業についての質疑は終わり、説明を了解とさせていただきたいと思えます。

《異議なし》

会長

本日、予定しました報告案件については以上となります。
これをもちまして議事を終了いたします。
ご協力ありがとうございました。
進行を司会に戻します。

-----（議事終了後）-----

司会

ありがとうございました。
それでは、本日、予定していた案件は以上となります。
次に、次回の会議日程について、事務局より連絡がございます。

事務局

令和4年度 第3回 八戸市子ども・子育て会議は、11月11日(金)の13時30分の予定となっております。

なお、会場は後ほどお知らせいたします。

案件につきましても、後ほど改めてご連絡いたします。

以上でございます。

司会

ありがとうございました。

これをもちまして、本日の会議を終了いたします。

委員の皆さま、長時間にわたり、ありがとうございました。